

山田洋次監督『連獅子』 同時上映『らくだ』

シネマ歌舞伎 上映会

二〇二三年 1月 22日 土

開演 午後2時(開場 午後1時)

スクリーン
ならではの
美と迫力

中村勘九郎

中村勘三郎

中村七之助

シネマ
歌舞伎
河竹黙阿弥作

連獅子

れんじし

山田洋次
監督作品

中村勘九郎 中村勘三郎 中村七之助 中村七之助 中村七之助 中村七之助 中村七之助 中村七之助 中村七之助 中村七之助

製作・配給:松竹

www.shochiku.co.jp/cinemakabuki

同時上映
『眼駱駝物語
らくだ』

会場

江戸川区総合文化センター 小ホール

入場料

一般 2,200円 学生 1,500円 (全席指定・税込)

※未就学児の入場はご遠慮ください。※学生券は、26歳未満で学生の方が対象です。(公演当日に学生証をお持ちください)

発売日

【サポーターズ・クラブ先行発売】11月7日(日) 【一般発売】11月13日(土)

※各プレイガイドでの販売はございません。

発売初日

【電話】03-3652-1106(10:00~)

【ホームページ】<https://edogawa-bunkacenter.jp>(10:00~)

※発売初日の窓口での販売は行いません。(先行発売日・一般発売日とも)

【主催】江戸川区／江戸川区総合文化センター指定管理者サントリーパブリシティサービスグループ 【製作・配給】松竹株式会社

※車椅子席・同伴者席は江戸川区総合文化センター窓口、電話のみの販売です。※やむを得ない事情により、内容・出演者が変更になる場合がございます。※公演中止の場合を除き、チケットの変更・払い戻しはいたしません。

ご来場のお客様へ | マスクの着用、入場前の検温、手指の消毒のほか、係員からのお願いにご協力ください。

江戸川区総合文化センター 〒132-0021 東京都江戸川区中央4-14-1 TEL.03-3652-1106(9:00~21:30) <https://edogawa-bunkacenter.jp>

歌舞伎の美と笑いをとことん楽しむ豪華二本立て

らくだ

【作】岡鬼太郎 【改訂・演出】榎本滋民
 【上演月】2008年8月
 【上演場所】歌舞伎座 【上映時間】52分

【出演】

紙屑買久六 中村勘三郎
 家主女房おいく 坂東彌十郎
 駱駝の馬太郎 片岡亀蔵
 半次妹おやす 尾上松也
 家主左兵衛 片岡市蔵
 手斧目半次 坂東三津五郎

作品紹介とみどころ

ふぐの毒に当たって急死した通称“らくだ”の馬太郎の通夜をしようと、仲間の半次が、紙屑買いの久六を家主のもとに使いに出します。酒で豹変し、立場が逆転する笑いあふれる傑作古典落語が題材の演目を、勘三郎の久六と三津五郎の半次のコンビで演じた舞台です。

今、甦る 十八世 中村勘三郎と
 十世 坂東三津五郎の共演による
 滑稽なやりとりが笑いを誘う古典落語の傑作

作品紹介とみどころ

親獅子がわが子を谷底へ突き落とし、自力で登ってきた仔獅子だけを育てるという、故実を元に、人気舞踊演目のひとつ。親獅子を中村勘三郎、仔獅子を息子の中村勘九郎、七之助が演じた舞台を、山田洋次監督がシネマ歌舞伎化。シネマ歌舞伎史上初となる、舞台上に設置したカメラで舞台稽古を撮影した、迫力ある映像が見どころ。クライマックスでは実の親子による一糸乱れぬ豪快な毛振りが必見です。

連獅子

【監督】山田洋次
 【上演月】2007年10月
 【上演場所】新橋演舞場
 【上映時間】55分



【出演】

狂言師後に親獅子の精 中村勘三郎
 狂言師後に仔獅子の精 中村勘九郎
 狂言師後に仔獅子の精 中村七之助
 僧蓮念 片岡亀蔵
 僧遍念 坂東彌十郎

日本映画界の名匠
 山田洋次監督が描いた
 渾身の作品

江戸川区総合文化センター 〒132-0021 東京都江戸川区中央4-14-1 TEL 03-3652-1106 (9:00~21:30)

■ アクセス

【電 車】JR総武線 新小岩駅 南口より徒歩約15分
 【バ ス】新小岩駅南口前③④番乗り場 <新小22>葛西駅前行き、<新小21>西葛西駅前行き
 「江戸川高校前」下車 徒歩約4分
 【駐車場】普通車244台 (1時間200円、以降1時間ごと100円)

■ バリアフリーサービス

江戸川区総合文化センターでは、皆様に安心して施設をご利用いただけるよう様々な取り組みを行っております。詳しくは窓口までお気軽にお問合せください。
 ●身障者用駐車場 ●車椅子貸出 ●車椅子席・同伴者席の設置など